

春秋連続優勝 「陸上競技部」

福山平成大学
学 報

第38号



miyuki letter

みゆきレター

Fukuyama
Heisei
University



陸上競技部は「第30回中国四国学生陸上競技選手権大会」(10月19日～21日：広島スタジアム)に出場し、春に開催された中四国学生対校選手権大会に続き6種目で優勝した。中でも「男子十種競技」で高橋正和さん(健康スポーツ科学科3年：神辺旭高出身)、「女子400m走」で田阪亜樹さん(健康スポーツ科学科3年：三

原東高出身)が春秋連続の優勝を成し遂げた。その他の種目では、「男子400m走」で河部佳則さん(健康スポーツ科学科2年：府中東高出身)、「男子ハンマー投げ」で春名優一さん(健康スポーツ科学科4年：岡山美作高出身)、「砲丸投げ」で石井智紋さん(健康スポーツ科学科3年：府中東高出身)、「女子400mハードル」で田阪亜樹さんが2種目連続優勝を果たした。

●広島県体育協会から表彰

広島県体育協会は、本年度の国際大会や国内の大会で優秀な成績を挙げた選手と団体に表彰する「体育賞」の授与式を12月1日に広島市内のホテルで行った。表彰されたのは延べ196人、42団体、その中で陸上競技部の田阪亜樹さん(健康スポーツ科学科3年)、北森亜紀子さん(健康スポーツ科学科3年：広島皆実高出身)が功績を称えられ、それぞれ受賞した。



写真左側：田阪 亜樹さん(400mH)
右側：北森亜紀子さん(走り高跳び)

御幸祭を振り返って

第14回御幸祭が無事終了致しました。学友会御幸祭運営委員会の皆さん本当にお疲れさまでした。

皆さんのがんばりは思い出として記憶の中にいつまでも残ることでしょう。

さて本学の御幸祭の特徴として各学科の企画は見逃せません。経営情報学科は学科開発ソフトウェアや街なか講座などの展示、携帯ストラップ作りや姓名判断などでした。福祉学科社会福祉学専攻は「こんなに広がる福祉の仕事」のパネル展示、福祉施設との交流、バルーンアートなどでした。特にバルーンアートはその技術に仰天です。福祉学科幼児保育学専攻は子供交流コーナー、音楽手遊び、ミニ体操教室など近隣の保育所や幼稚園の子供さんを招いたイベントでした。健康スポーツ科学科は、私お気に入りのプロレス(OPG)エキジビジョンマッチ、アームレスリング大会、トレーニングマシンの公開や体験でした。今年初めての看護学科は教育用シミュレータとトレーニングモデルの展示でした。各学科の先生方にはお忙しい中を本当に有難うございました。

会場内に設けられたステージでは、イベントが行われました。20日にはREAD×GO、模擬店主、激辛王、ききドリンク、軽音楽ライブ、T.S SHOW TIME、当夜祭、21日にはお絵かきクイ

ズ、T.S SHOW TIME、軽音楽ライブ、吹奏楽コンサート、LAST FANTASYです。中でも特筆すべきは、熾烈な激辛王で経営情報学科の芝田先生が3度目の優勝を果たしたことです。いつも「辛さが足りーん」と怒っているのもうなづけます。これらの他にも、合気道部の演武会やフットサル部の交流試合、事務局が企画するオープンキャンパス見学会や似顔絵アーティストによる実演なども行われました。大学祭を盛り上げてくれる模擬店もがんばって売り上げを伸ばしていたようです。本学の大学祭は多くの学生や近隣の住民の方の協力の上に成り立っています。参加していただいた方々に心より感謝致します。

学生委員長

経営情報学科教授 福井正康



サークル活動報告

サークル活動報告(対外試合の主な戦績)

男子バレーボール部

●第66回中国大学バレーボールリーグ戦 秋季大会 (10/6～10/21)	1部 準優勝 敢闘賞:藤島一樹(健4) ブロック賞:崔 啓博(情1) セッター賞:渡辺直之(情3) リベロ賞:城山友樹(健4)
●第7回広島県大学バレーボール選手権大会(11/17～18)	優 勝

女子バレーボール部

●第66回中国大学バレーボールリーグ戦 秋季大会 (10/6～10/21)	1部 準優勝 敢闘賞:宇称美希子(健4) スパイク賞:高原祐子(福2)
●第7回広島県大学バレーボール選手権大会(11/17～18)	準 優 勝

サッカー部

●2007年度 広島県学生サッカー連盟 サテライトリーグ (6/16～10/13)	準 優 勝
●2007年度 中国大学サッカーリーグ(9/9～11/11)	1部 7 位

陸上競技部

●第61回中国五県陸上競技対校選手権大会(8/18～19)	田阪亜樹(健3) 女子800m 優 勝
●2007全日本学生陸上競技 チャンピオンシップ (9/7～9)	石井智紋(健3) 女子円盤投げ 第3位 田阪亜樹(健3) 女子400mH 第7位 島山慎平(健3) 男子三段跳び 第8位
●第60回西日本学生陸上競技 対校選手権大会 (9/14～16)	田阪亜樹(健3) 女子800m 優 勝 河部佳則(健2) 男子400m 第6位
●第12回中国四国学生女子駅伝大会(8/18～19)	第 6 位(8チーム中)
●2007群馬リレーカーニバル(10/13～14)	田阪亜樹(健3) 出場(女子800m)
●「新潟市政令指定都市記念」 新潟ビッグ陸上フェスタ (10/14)	石井智紋(健3) 出場 (女子円盤投げ) 第3位
●第23回日本ジュニア陸上競技選手権大会(10/19～21)	鷲原範子(看1) 出場(女子ハンマー投げ)
●第30回 中国四国学生陸上 競技選手権大会 (10/19～21)	男子 400m 河部 佳則(健2) 優勝(48秒64) 男子 400mH 河部 佳則(健2) 3位(53秒20) 男子 走高跳び 竹本 章宏(福1) 2位(2m02) 男子 三段跳び 川口 翔(健4) 2位(15m00) 男子ハンマー投げ 春名 優一(健4) 優勝(53m53) 男子 砲丸投げ 佐藤 宏親(健2) 2位(12m72) 男子 円盤投げ 今城 孝章(健4) 2位(42m71) 男子 十種競技 高橋 正和(健3) 優勝(6103点) 〃 〃 畠山 誠也(健2) 2位(6077点) 男子 4×100m 弘中福本川口松本 3位(41秒79) 女子 400m 田阪 亜樹(健3) 優勝(57秒84) 女子 400mH 田阪 亜樹(健3) 優勝(60秒98)大会新 女子走り高跳び 北森亜紀子(健3) 2位(1m64) 女子 棒高跳び 宮本 志織(健2) 3位(2m90) 女子 三段跳び 林 友美(福4) 2位(10m99) 女子 砲丸投げ 石井 智紋(健3) 優勝(13m76)大会新

剣 道 部

●第54回中四国学生剣道優勝大会(8/26)	男子団体 ベスト8 最優秀選手賞 柳生祐介(健2)
●第19回福山市長杯 剣道居合道選手権大会 (11/3)	男子団体 3位 女子個人 山本杏奈(福1) 準優勝
●第1回広島県学生剣道選手権大会(11/4)	男子個人 森 紘頭(健3) 優 勝 男子個人 宮本浩和(健3) 準優勝

ソフトテニス部

●中国学生ソフトテニス秋季リーグ戦 ●第57回中国学生ソフトテニス選手権大会(8/27～31)	男子団体 1部 4 位 女子団体 1部 優勝
●広島県学生ソフトテニス秋季大学対抗戦(9/23～24)	女子団体 優勝・準優勝
●第56回中国四国学生ソフトテニス 選手権大会(10/10～13)	男子ダブルス 川手健悟(情2)・高橋慎輔(健3)組 準優勝
●広島県学生ソフトテニス 新人大会(10/28)	大木 拓海(福1)・西田 辰(健2)組 準優勝 川手 健悟(情2)・公文 宏(情2)組 3 位 大内 香波(情2)・平本真莉菜(健1)組 優 勝 窪田 有夏(健1)・小林絵里香(健2)組 準優勝 志水 由佳(健2)・西村直美(健1)組 3 位

硬式テニス部

●広島県学生庭球選手権(8/2～7)	西 卓人(健2) 準優勝
●全日本大学対抗テニス王座決定試合 中国四国地区大会(9/11～17)	男子団体 5部 優勝 (入替戦勝利→4部昇格)
●広島県学生庭球新人戦(10/6～10)	出 場
●中国四国学生テニス新進トーナメント大会(11/17～25)	出 場
●第23回福山市テニス協会団体対抗戦(11/4)	男子 A B 級 優勝

軟式野球部

●第12回中国地区大学軟式野球連盟 秋季リーグ戦 (8/17～10/7)	春秋連続 優 勝
●第24回西日本大学軟式野球選手権大会(11/10～14)	ベスト 8

バスケットボール部

●2007年度広島県学生バスケットボール 春季リーグ戦(4/15～6/23)	男子 2部 優勝 (入替戦に勝利し1部昇格) 最優秀選手賞:田井基文(健2) 女子 2部 8 位
●広島県学生バスケットボール新人戦(8/31～9/2)	出 場
●中国学生バスケットボール選手権大会秋季大会(10/18～21)	出 場
●2007年度広島県学生バスケットボール秋季リーグ戦(9/17～11/24)	出 場

ボクシング部

●広島市アマチュアボクシング選手権大会(11/4)	出 場
●中国大学ボクシング選手権大会(11/23～25)	出 場

ダンス部

●第6回今どき音楽晩餐会(5/26)	出 場
●REAL Vol 5 2on2 BREAKINGBATTLE(10/27)	出 場

吹奏楽部

●第16回広島15大学吹奏楽の夕べ(8/19)	出 場
●第14回ふれあい音楽祭(9/30)	出 場
●第10回スパイラルコンサート(11/11)	出 場

アウトドアスポーツ部

●ダイビングキャンプ (7/7～8)	企 画
--------------------	-----

保育部

●たんぽぽ保育園 夏祭りボランティア(8/25)	参 加
--------------------------	-----

学友会執行部

●平成19年度学内献血 (6/5)	受付 7 5 人 献血者 4 8 人
-------------------	--------------------

各学科の出展テーマ



こども学科
子どもの未来と笑顔を大切に育てよう



経営学科
経営情報学科開発ソフトウェアの紹介



健康スポーツ科学科
眼から始まる全身反応



福祉学科
こんなに広がる福祉の仕事



看護学科
出会い・発見・感動！看護学部

備後地域の企業や教育機関が日頃の研究成果を発表・展示する「びんご産業市場」が11月16日(金)～18日(日)に広島県立ふくやま産業交流館(ビッグローズ)において開催された。会場は3日間とも大勢の来場者で賑わっていたが、本学ブースにも多数の来場者があり、興味津々に担当者の説明に耳を傾けていた。

「びんご産業市場」

施設紹介 学生食堂

学内施設紹介の第1回目は、本学の学生食堂である。学生食堂といえば「安い」、「うまい」が定番であるが、本学の学生食堂はプラスαとして「ボリューム」があげられる。また、メニューも豊富であり、各種定食や丼物、麺類(パスタ、うどん、そば、ラーメン)など、45品目が180円～500円というリーズナブルな値段で提供されている。さらに、食事以外にもドリンクバーのみの利用が可能であり、喫茶店のようにティータイムを過ごすこともできる。

明るく広々とした空間は1階が350席、2階の軽食コーナーが100席である。この食堂は一般利用者にも開放されており、週末には親子連れが食事をとっている姿も多く見受けられる。

それでは、メニューの中でも特に人気のある「ベスト3プラス1」を紹介しよう。



第1位

本日のおすすめ
【日替わりランチ】ジュース付 450円

毎日日替わりにて、ボリュームたっぷりのメニューが用意されている。「何が出るか?」はその日のお楽しみである。



第2位

唐揚げ定食 ジュース付 450円
ジューシーな唐揚げに特製ソースがかけられている。



第3位

おろしトンカツ定食ジュース付 500円
手付けパン粉のトンカツが特製おろしソースにて提供されている。



プラス1

さぬき定食 500円
カツ丼と肉うどんがセットになったボリュームたっぷりの定食である。

福祉実習報告

私は、精神保健福祉士現場実習で「地域生活支援センター ひだまり」に12日間、実習に行きました。実習期間中は主に、支援センターで行われている行事に参加し、職員の方の精神障害のある方への対応方法・接し方に注目して実習を行いました。

職員の方は、精神障害のある方からの質問や訴えに対して、言葉だけでなく、表情や仕草などの言葉では表されないコミュニケーションを重視しながら接していました。言葉だけで思っていることの全てを伝えることができない場合もあると思います。言葉では表されない「ことば」を受けとることで、精神障害のある方が伝えたかったことを理解し、必要な助言、情報提供を行うことができると思います。



まず、私が将来、福祉に関する職業に就いた場合も、今回の実習で学んだ、言葉では表されないコミュニケーションを大切にしていきたいと思います。将来支援者になるためにも、卒業まであまり時間はありませんが、実習以外でも多くの人と関わり、様々なことを学んで行きたいと思いました。

福祉学科4年

三根 卓

福祉健康学部福祉学科に来春「介護福祉コース」誕生

平成20年度より、本学の福祉健康学部福祉学科に介護福祉コースが設置される。本コースは今後増大する高齢者や障害者の介護ニーズに対応し、国家資格である介護福祉士の養成を第1の目的とする。ともに、ケアの理論や技術を併せ持ったソーシャルワーカー（社会福祉士や精神保健福祉士の養成も視野に入れ、介護福祉士と社会福祉士（国家試験受験資格）あるいは介護福祉士と精神保健福祉士（国家試験受験資格）、介護福祉士と高等学校教員第1種免許（福祉または公民）といった2資格の同時取得が4年間で可能なカリキュラムとなっている。



- 【取得をめざす資格】
- 介護福祉士(卒業と同時に取得)
 - 社会福祉士(国家試験受験資格)
 - 精神保健福祉士(国家試験受験資格)
 - 高等学校教員1種免許「福祉」「公民」
 - 社会福祉主事(卒業と同時に取得)
 - 児童指導員(卒業と同時に取得)
 - 障害者スポーツ指導員・初級(卒業と同時に取得)

このようなカリキュラムを全うすることは容易ではないが、本人の努力次第で大きな夢が描けるコースであるといえよう。本学のサポート体制としては、最新の介護福祉、特にケアマネジメントやケアプラン、認知症のケア、在宅ケアに関する現場経験豊富で研究と教育に熱心な教授陣を揃えている。

福祉健康学部こども学科(平成20年度開設)に「グランドピアノ」設置

平成20年度より、本学の福祉健康学部「こども学科」が開設されるにあたり、グランドピアノ1台と電子ピアノ「クラビノーバ」10台が設置された。ピアノ実技は幼稚園教員および保育士採用試験の必須科目であるが、ピアノ初心者や音楽が苦手な学生も無理なく技術を高められるよう、本学では入学予定者を対象に、「入学前からのピアノ指導」および「4年間ピアノ教育」を実施してきた。近年では多くの採用試験会場でグランドピアノが使用されていることに対応し、本学も設置することとなった。



また、グランドピアノと同じ鍵盤の感覚で演奏できる「クラビノーバ」も10台設置された。この「クラビノーバ」はヘッドフォンが装着可能な電子ピアノであり、個人練習の際に周囲を気にすることなく演奏に集中することができる。また、練習の時間帯も拡大され、朝から夕方まで、自分の講義の無い時であれば、いつでも本学ピアノレッスン室にて使用することができる。(使用にあたっては学務課窓口にて申込みが必要)



基礎看護学実習Ⅰのお知らせ



平成20年3月3日(月)～7日(金)の5日間、公立学校共済組合中国中央病院、福山市民病院、国立病院機構福山医療センターの3施設で基礎看護学実習Ⅰが実施される。この実習は看護学科1年生にとって入学後初めての病院実習であり、将来、看護師を目指す学生が実習先の病院スタッフや患者から多くのことを学び取ることが期待されている。



第14回 福山平成大学 御幸祭



御幸祭に参加して…

10月20、21日に御幸祭が開催されました。私たちは前日の準備から参加し、看板を塗装・修正しました。思っていたより時間がかかり、最初は3人でしていましたが、時間がかり最終的には7人で作業をしていました。そのおかげで、御幸祭当日には良い看板が出来ました。



21日学祭2日目、前日と同じくらい忙しく、1期生からの卒業生がたくさん来られて、先生方と話が盛り上がりつつありました。他にも先生の子どもが来てとてもかわいかったです。御幸祭を通じて、ゼミの人達とも仲良くなれ、授業の中では見られないような先生の意外な一面も見ることができました。また、新しい友達も増えてこれからの学校生活が今まで以上に楽しくなりました。

御幸祭に参加して、自分の成長につながったと思います。

経営情報学科 2年武島 彩佳
2年塚原 理代

私たちは姓名判断と携帯ストラップの作成をしました。思っていた以上にお客さんが来て、教室が混雑することもありましたが、みんなと協力して成功させることができました。他にも、私たちのゼミの芝田先生が「激辛王」で優勝したり、OBの方がケーキを差し入れてくれたりと、充実した1日を過ごすことができました。



地域とふれあい、輝く学生たち

福祉学科社会福祉学専攻では、福祉学科紹介の展示、福祉施設の物品販売、バルーンアートづくりを行い、地域の方々との交流を深めました。特に、福祉施設職員・利用者の方々が「〇〇君、〇〇さんはいますか?」といった実習やボランティア活動等で関わりをもった学生をたずねてこれ、学生達の活動が地域に根ざしたものとなっていることを実感する御幸祭でした。

■学科紹介パネル展示



新設する介護福祉コースの概要や大學生生活の様子、卒業生の活躍などを紹介し、来場者の方々に福祉学科をPRしました。卒業後数年ぶりに大学祭に来たという卒業生は、展示パネルに写った同窓生の活躍する姿を見て「懐かしいですね、みんな福祉現場でがんばっているんですね」と感想を述べていました。

■福祉施設の物品販売



日常的にボランティア活動をしている「福山平成大学シグマソサエティ」が、福祉施設との交流の環として企画運営をしました。同時に、共同募金活動やボランティア活動紹介の展示、わたがしの模擬店もおこなうなど、多彩な企画でした。シグマのメンバー達は、和紙でつくられた美しい和紙や財布、バザーの物品等を元気に売っていました。

■バルーンアート

子どもから大人まで幅広い年齢層の方々が来場し、多くの学生達と交流を深めました。近隣の福祉施設利用者の方々も訪れ、学生たちからバルーンアートの作り方を習っていました。子どもたちは、バルーンでつくった巨大な恐竜や家、ボールに大喜び。さらに、地域の祭りやイベントで活躍しているバルーンアートの作り方を教えてほしいといった嬉しい声も届きました。あまりの大盛況に人手が足りず、嬉しい悲鳴をあげた2日間でした。また、学科企画としてのエンタリではありませんが、福祉学科の学生達がゼミやサークルの仲間とともに模擬店でやさそば、竜田揚げ、わたがしなどを販売し、祭りを盛り上げました。また学友会役員、御幸祭運営委員はほとんどが福祉学科学生が担っており、見えない苦労があったと思いますが、しっかりと御幸祭をささえてくれました。



行事に積極的に参加する学生達の姿をみると、日常の授業では分かった魅力や能力に気づかされることがあります。また、異なる学年の学生との共同作業を通じ、学生同士の間関係も広がり深まりをみせたようにも思います。成長し変化する学生の姿を頼もしく感じました。

福祉学科
講師 八田 和子

第14回 御幸祭を終えて



今回、私は運営委員として御幸祭に参加しました。準備の段階では、幼稚園教育実習と重なり、なかなか真剣なかわりができずに運営委員の人たちに迷惑をかけてしまったので、当日は精一杯頑張ろうという気持ちで臨みました。御幸祭一日目は、似顔絵アーティストコーナーの受付や、本部受付などを担当しました。このコーナーでは、受付を福山大学の学生と一緒にいうことだったので、その人たちに対処法をきちんと伝えなければならず、準備の段階から内容を自分で理解することに苦労しました。また他にも気を使ったところがあります。本部受付はパンフレットを配ったり、募金を呼びかけたり、風船を子供にわたすなど、来てくださった地域の方々とのふれあうところであるため、常に笑顔で気持ちの良い挨拶ができるよう心がけました。御幸祭二日目は、講演をいただいた達川光男講師のケータリング室の準備や、会場の警備を行いました。特に「ご注意をいただいたこともなく、無事に講演会を終了することができました。達川さんにも、「頑張ってるなあ、この後も頑張れよ。」と声をかけていただいたので、とても嬉しくなりました。

御幸祭最後のイベントで運営委員全員がステージに上がったとき、このメンバーで頑張ってきた本心に良かったなあと、心から思いました。本番まで、みんな

でたくさん話し合い、泣いたり、笑ったり、喧嘩をしたり、いろいろなことがあったけど、くじけずに支え合ってきたのです。そんな仲間に出会うことができたのは、本当に奇跡のようです。私は今回の御幸祭で仲間の大切さを改めて学ぶことができた。本当に頑張ってきたことが良かったと思える、心に残る学祭でした。この事を後輩にもしっかりと伝えたい、今は考えています。

御幸祭実行委員

福祉学科2年 田村 沙織

『出会い・発見・感動!』



開学して、初めての学園祭です。まだ一年生しかおりません。そのような中で、学生・教職員の協力を得ながら、無事に学園祭を終了することが出来ました。今回学科企画として、学科で使用する「教育用シミュレーター」とトレーニング「モデル」の中で、フィジカルアセスメントモデルや呼吸音・心臓病シミュレーター、バイタルサインベビーや沐浴人形などの展示説明を行いました。二日間学内見学も含め多くの方に来ていただき、興味関心を持って、聞いて・ふれていただくことができました。来年は学生数も増えるので、多くの学生が参加してくれるのを楽しみにしています。

看護学科
教授 豊田 澄子

野外活動実習の実践報告

健康スポーツ科学科 講師 山下 雅彦

はじめに

平成19年8月2日～6日までの4泊5日間で2～4年生の学生を対象に、野外活動実習が実施されました。学校教育、地域社会の野外活動指導者に必要な基礎知識と野外活動技術を身につけることを目的に実施された中の濃い5日間を、学生たちはどのように過ごし、また何を学んだのか。学生のレポートから、その内容について紹介します。

『私だけの経験』

私だけの経験。それは、カヌーツーリングの時に、沈(※ちん)。カヌーに乗ったままの状態、ひっくり返ること)をして岸に残された7人のうちの1人になってしまったこと。そして、遠泳の時に、先頭という大役を務めたことである。どちらかだけを経験した人は何人かいるだろうが、この二つを経験したのは、私だけである。

クライミング、ロープワーク。そして、自分が今まで培ってきた泳ぎを生かすことができる川下り、リバーレスキュー、シュノーケル、着衣泳、海での救助法という経験は、私に泳ぐ事ができるともつといるんなこととができていたが、もっと楽しめることがあり、いろんなことに挑戦したいと思うようになった。これらの経験からたくさん得るものがあった、しかし、最初に述べた二つの経験から得たものは、これら以上のものがある。

カヌーツーリング。私は、行きたい方向に進めるかどうかでも不安だった。2日前の練習では、前になかなか進まず、ぐるぐる回って、周りの友達のカヌーに何度も突っ込んでしまった。こんな調子で大丈夫なのだろうか。なんとか沈をせずにゴールに行けたらいいなあという思いでスタートをした。しかし、スタートしてすぐ、練習の時と同じようなことが何度か起きていた。なんだか嫌な予感。進むにつれて、川の流れは速くなり、前では何人かが沈をし始めていた。よし、何とか切り抜けるぞと思った矢先のことだった。自分のカヌーは行きたい方向と逆の方向に向いて流され、目の前は川岸の草。やばっ！そう思った時にはもう遅かった。カヌーは傾き、草にひっかかって動かない。私は、カヌーに乗ったまま水の中だった。沈した瞬間は驚きと焦りでいっぱいだったが、それから意外にも冷静に動くことができた。まず、カヌーから脱出しよう。足を揃え、パドルから手を離さないようにということ



に気をつけた。脱出したらパドルを浮きにして流されよう。次のことを考えながら行動していた時だった。パドルが動かない。自分は流されようとしているにもかかわらずパドルが流れなかったのだ。ひっぱろうとするが、パドルを持つだけで精一杯だった。ここでずっとパドルと格闘しても何も変化は起きないだろうな。パドルは諦めて、手を離れた。水の中で自分がカヌーから浮き上がってきたところを、山下先生に助けられ、岸までなんとか辿り着いた。しかし、カヌーもパドルもない。次に進むこともできず、その岸に残されてしまったのだ。今思えば、危険だったけれどいい経験をしたと思う。この経験をしたらわかったことがあったからだ。川の流れは見た目以上に速く、それにのみ込まれたら、悪く言えば、行方不明になったりするのだからなと思った。だから、川をなめてはいけない。たまたま泳げたからよかったものの、泳げなかったら、かなり焦って大変なことになっていくかもしれない。それこそ、溺れていたかもしれない。さすがにこのときは、



今まで水泳をしてきてよかったと思った。そしてもう一つわかったことは、当たり前前のことであるが、先生の話をよく聞いておくことが大事である。聞いていなければ、沈をした時に間違った行動をして、怪我をする可能性もある。ともかく、危険が伴うことをする場合には、常に、最悪のことが起こった場合のことも考えて行動する必要があるということがわかった。

健康スポーツ科学科2年

上田 裕貴

『自然はアンコントロールだ!』

今年の野外活動で実感したことは「自然はアンコントロールだ!」という言葉に尽きると思う。そして、その自然には仲間と協力して立ち向かえということだ。最後に、私はこの野外実習で、上記のプログラム以外でもプログラムリダーとして、いろいろな人とコミュニケーションをとることができ、人間関係を築くことができた。

これまでこのようなポジションには推薦されたこともなく、ましてや立候補などもつてのほかだと、自分を評価していた。しかし開講式では全員の前で喋るのに緊張していた自分が、最後には緊張せず話ができているのに自分でも驚いた。これは周りで支えてくれたA2カウンセラーの皆や、先生方のおかげだ。プログラムリダーというポジションに推薦してくださった山下先生、帰りのバスで「よく頑張った」と声をかけていただき、爆睡する私に肩まで貸していただいた大成先生、つらい時に支えてくれたA2カウンセラーチーム、その他の参加者全員に感謝しつつ、レポートを締めくくりたいと思う。

健康スポーツ科学科3年

鈴木 享司

おわりに

今日、青少年を取り巻く環境として、物の豊かさや生活の便利さは飛躍的に高まってきたが、反面、心の豊かさや精神的なたくましさは青少年に欠けてきていることが指摘されています。また、青少年の非行や犯罪が社会問題化してきています。これらの変化は、他者への関心と認識の欠如、自我の未発達、過剰な自己中心主義、社会や未来への無関心などの自立心や社会性の欠如を促しています。また、学校現場においても、いじめ、不登校、学級崩壊など様々な問題を抱えています。このような青少年に関する諸問題の解決には、青少年が自ら考え、行動できる多様な直接体験の場や機会を積極的に提供する必要があります。その機会を担っているのが野外活動実習の役目の一つであると考えています。



平成20年度 入学試験概要

【一般選抜入試】 前期入試A日程:試験日自由選択制 (奨学生入学試験含む)

試験種別	試験日	出願期間	合格発表
前期入試 A 日程	平成20年 1月31日(木)・平成20年2月1日(金) 平成20年 2月 2日(土)・3日(日)	1月 5日(土)～1月25日(金)消印有効	2月 8日(金)

試験会場 [1/31～2/3福山(福山平成大学)・広島・小郡・福岡・岡山] [1/31鳥取・徳島・京都] [2/1米子・高松] [2/2高知・静岡]
[2/3松山・神戸・名古屋] [1/31・2/1 大分・長崎・東京] [2/2・2/3松江・鹿児島・熊本] [2/1・2/2大阪]

【一般選抜入試】 前期入試B日程

試験種別	試験日	出願期間	合格発表
前期入試 B 日程	平成20年 2月17日(日)	2月 4日(月)～2月13日(水)消印有効	2月20日(水)

試験会場 [福山(福山平成大学)・広島・岡山]

【一般選抜入試】 後期入試:試験日自由選択制

試験種別	試験日	出願期間	合格発表
後期入試	平成20年 3月14日(金)・15日(土)	2月22日(金)～3月10日(月)消印有効	3月18日(火)

試験会場 [福山(福山平成大学)・広島・福岡・岡山・大阪]

(詳細については、本学ホームページをご覧ください。 <http://www.heisei-u.ac.jp/nyushi/index.html>)

平成19年度公開講座報告



9月13日～10月18日の毎週木曜日、本学7号館において平成19年度公開講座(全6回)が開催された。今年度は「新しい時代を生きる」をテーマに、高齢化に関する問題や日本の経営など、バラエティーに富んだ内容の講演が本学教員によってなされた。本年度の受講者は延べ千名を超え、近年にない盛況であった。また、最終講座終了後には閉講式が行われ、公開講座委員長の村社教授による挨拶の後、6講座中5講座以上受講した者に授与される「受講証」が128名に授与された。

回	開催日	講座名	講師名
1	9月13日(木)	サクセスフル・エイジング～時を重ね、自分らしく生きるために～	橋本 和子 教授
2	9月20日(木)	認知症のおはなし	中司 登志美 講師
3	9月27日(木)	「海洋生物の不思議」から教わること	沖増 英治 教授
4	10月 4日(木)	生演奏の魅力 ～ベートーヴェンの革新性～	伊藤 憲孝 助教
5	10月11日(木)	目と永く付合うための知識	井上 徹 教授
6	10月18日(木)	戦前から戦後へ～「会社乗っ取り」を防ぐ仕組みをめぐる～	田中 三樹 教授

入試情報



携帯電話から、
入試情報が見えるよ!

ホームページ
リニューアル
しました!

福山平成大学

検索

本誌をご覧の皆さん方は、本学でたくさんの方々が参加していることに驚かされたのではないでしようか。近年、サークル活動には全学の約60%の学生が所属するようになり、毎日の猛練習の末、対外試合では優勝争いをするまでになりました。また実習として「野外活動実習」は、まさに危険と隣り合わせであります。楽しさも最大の活動と言えましよう。その他、中・高校生への教育実習、高齢者・障害者・幼児への福祉実習、病院での看護実習、さらに学生自身が企画し運営する大学祭などがあります。学生たちは、これらの行事と真正面から取り組み、大学生活を満喫し、立派な青年として生活を営んでいく態度や能力を身に付けていくのです。

編集後記

学長 田口則良